

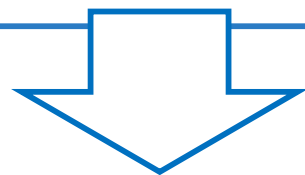
『まちづくりの健康診断』について

背景

- 平成26年度から立地適正化計画に基づくコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが進められてきている中、より実効性を発揮し、持続可能な都市構造の実現と都市経営の改善を進めるためには、**市町村が現状を的確に認識し、立地適正化計画を策定することや、策定した立地適正化計画を適切に計画見直しを実施していくことが重要。**
- 一方で、個々の市町村においては、客観的に現状を把握するための**データ不足や評価手法への知見不足**、他の市町村と**比較検討できるような統一的なデータ**収集、今後見直すべき・新たに取り組むべき**施策の検討への支援が急務。**



国による、市町村が現状を的確に認識するための、人口動向、財政状況、公共交通をはじめとした客観的な情報を、統一的なデータとして提示し、今後の見直し方策等の提供を進めるべき



まちづくりの健康診断

- 市町村各々の状況を示す、**直接・間接の指標を国が分析し、分かりやすく提示**するとともに、同じような環境の都市との**比較検討**や、他都市での**先行事例等を、統一的な様式で提供**することで、立地適正化計画の実効性を向上

